

こたえ わたり鳥

じゅけんいりぐち
受験入口 ①

わたり鳥

鳥の中には、季節きせつによって、すむ場所をかえるものがいます。このような鳥を、わたり鳥といいます。

ツバメは、春になると、あたたかい南の国から日本にやってきます。夏の日本には虫がたくさんいるので、ひなを育てるのにつごうがよいのです。そして、秋になると、また南の国へ帰っていきま

す。反対に、ハクチョウは、秋になると北の寒い国から日本へやってきます。①そこは冬になると、水がこおって、えさがとれなくなってしまうからです。ハクチョウは日本で冬をこし、春になると北の国へ帰っていきます。

このように、わたり鳥は、くらしやすい場所をもとめて、長い旅をしているのです。

1 季節きせつによって、すむ場所をかえる鳥を何といいますか。

わたり鳥

2 ツバメが、夏の日本にやってくるのはどうしてですか。

夏の日本には虫がたくさんいて、ひなを育てるのにつごうがよいから。

3 ①「そこ」とは、どこのことですか。

北の
寒い国

4 ハクチョウが日本にいるのは、いつですか。

ア 夏
イ 冬
ウ 一年中

5 この文章のまとめが書かれているのは、どの段落だんらくですか。

ア 一番目
イ 二番目
ウ 三番目
エ 四番目

おうちの方へ

- ツバメ（夏に来る）とハクチョウ（冬に来る）をくらべて、表にまとめてみましょう。